

東京大学中央食堂全面リニューアルオープン！

東京大学創設 140 周年記念事業の一環として行ってきました東京大学中央食堂の全面リニューアル工事が完成し、4月2日にオープンしました。

東京大学中央食堂は、1975年の竣工後、1994年の改修を経て、約40年間キャンパスライフの基礎となる「食」を提供してきましたが、近年では設備の老朽化が著しく、留学生の増加等による大学構成員や環境の変化に対応し、多様なニーズに応えられる食堂が求められていました。

新しい中央食堂では、多様な学生が集い、活発に交流することでお互いを高め合うことを期待し、次のような工夫を凝らしました。

- ハラルやベジタリアンへの対応、健康志向のヘルシーな食事、その場で出来たての料理が提供されるライブキッチンなど、豊富なメニューを取り揃えました。
- 交通系ICカード導入によるキャッシュレスレジと利用者の動線を工夫することで、ピーク時の混雑を緩和します。加えて誰もが利用し易い食堂とするため、エレベータを設置し、案内係を配置しました。
- 学食パスの利用で、学生の食事履歴を学生自身と保護者が知ることができる仕組みを新たに取り入れました。
- 天井部分は創建当時の意匠を復活させ、トップライトに自然光を取り入れたことで明るい空間に生まれ変わりました。
- 友人や研究室の仲間と語り合いたい、素早く食事をしたいなど、用途に合わせた席を設置し、2階には落ち着いた雰囲気のカフェスペースを設けました。

多くの皆様に愛される中央食堂として新たな歴史が始まります。

